

第9回全国消防救助シンポジウムの開催

参事官

1. 概要

消防庁では、平成18年12月13日(水)に東京都港区芝公園の「メルパルクホール」において、救助技術の向上及び啓発並びに救助隊員等相互の交流を図り、我が国における救助体制の一層の充実を図ることを目的として、全国消防救助シンポジウムを開催しました。

今回は、航空救助事象等における対応及び航空消防隊と救助隊との連携等に関して、「ヘリコプターを活用した救助活動について」というテーマのもと開催しました。

今回のシンポジウムには、1,500名を超える消防救助関係者等が全国から参加しました。講演では、数々の航空救助事象に携わってきた海上保安庁の特殊救難隊長から、「海上保安庁における回転翼機での航空救難」についてお話をいただいたほか、鹿児島県防災航空センターの防災航空隊長から平成18年7月22日に鹿児島県北部において発生した豪雨災害における航空救助活動概要を報告していただきました。

この講演に引き続き、航空救助技術の研究成果、救助活動事例等の発表や意見交換なども行いました。

本シンポジウムの内容については、後日記録集を発行し、消防本部等に配布する予定です。

2. 内容

(1) 講演

- ・佐々木千寿（海上保安庁第三管区海上保安本部羽田特殊救難基地特殊救難隊長）

「海上保安庁における回転翼機での航空救難について」

- ・田代 昌士（鹿児島県危機管理局防災航空センター防災航空隊長）

「鹿児島県北部豪雨災害による航空救助活動概要」

(2) 事例研究発表

全国の消防本部の応募の中から選ばれた6事例の発表が行われました。

発表者及び演題は以下のとおりです。

- ・大町 正人（仙台市消防局）

「消防航空隊と地上部隊との連携活動について」

- ・佐藤 浩三（東京消防庁）

「レッグバックを活用したりペリング降下法の導入及び有効方策」

- ・松井 潤一（名古屋市消防局）

「がんばろう航空連携隊」

- ・竹内 幹人（京都市消防局）

「京都市消防局における航空救助体制について

～全特別救助隊に対する教育・訓練～」

- ・下村 隆英（西宮市消防局）

「河川におけるヘリコプター救助活動事例について」

- ・福島 信二（熊本県防災消防航空隊）

「ヘリコプター吊り上げ時におけるバスケットストレッチャー回転事案」

(3) パネルディスカッション

「ヘリコプターを活用した救助活動について」と題し、佐々木千寿海上保安庁第三管区海上保安本部羽田特殊救難基地特殊救難隊長、吉沢俊二埼玉県危機管理防災部防災航空センター防災航空隊長、額額吉博愛知県防災局消防保安課防災航空グループ防災航空隊長、堀田潤一京都市消防局警防部消防救助課消防航空隊長、居垣裕之大阪府消防局城東消防署特別救助隊（航空救助）担当司令、田代昌士鹿児島県危機管理局防災航空センター防災航空隊長、田島松一東京消防庁警防部救助課長を迎え、中地弘幸総務省消防庁国民保護・防災部応急対策室航空専門官、近藤晃同参事官補佐の両名をオブザーバーとし、田島氏の司会進行及びコーディネートで意見が交換されました。

3. おわりに

開催にあたり、全国から定員を超える参加希望があり、盛会のうちに終了することができました。

今後、本シンポジウムが全国の救助隊員等の情報交流の場として積極的に活用され、今後の救助技術の向上に大きな役割を果たしていくことを期待しています。



第9回全国消防救助シンポジウム・パネルディスカッションの様子